

# 作品紹介

## ひまわり 50周年HDレストア版



第二次世界大戦下、陽気なアントニオと結婚したナポリ女のジョバンナは、夫を戦争に行かせないため狂言芝居ます。アントニオは地獄のソ連戦線に送られてしまう。終戦後も戻らない夫を探すため、ジョバンナはソ連に向かい夫の足跡を追う。しかし、広大なひまわり畑の果てに待っていたのは…。

1970年／イタリア／107分  
監督：ヴィットリオ・デ・シカ 出演：ソフィア・ローレン マルチェロ・マストロヤンニ  
配給：アンプラグド  
©1970 - COMPAGNIA CINEMATOGRAFICA CHAMPION(IT) - FILMS CONCORDIA(FR) - SURF FILM SRL, ALL RIGHTS RESERVED.

## ドンバス



2014年に一方的にウクライナからの独立を宣言し、親ロシア派勢力「分離派」によって実効支配されているウクライナ東部ドンバス地方。ウクライナ軍との武力衝突が日常的に起きているこの地域にはロシア系住民が多く住み、「分離派」の政治工作によってウクライナ系住民との分断が深まり内戦となっている。フェイクニュースやプロパガンダを巧みに駆使する近代的な情報戦と、前時代的で野蛮なテロ行為が横行するドンバスのハイブリッド戦争を、ウクライナ出身の異才セルゲイ・ロズニツァ監督がダークユーモアを込めながら描く—今日の戦争でロシア軍の所業を知った今、もはやまったく笑えない映画に変貌を遂げた。2018年カンヌ国際映画祭《ある視点》部門監督賞受賞作品。

2018年／ドイツ・ウクライナ・フランス・オランダ・ルーマニア／121分  
監督・脚本：セルゲイ・ロズニツァ 出演：タマラ・ヤツェンコ、ボリス・カモルジン  
配給：サニーフィルム

©MAJA.DE FICTION / ARTHOUSE TRAFFIC / JBA PRODUCTION / GRANIER FILM / DIGITAL CUBE

## ママをやめてもいいですか？



2020年／日本／92分

企画・監督・撮影：豪田トモ ナレーション：大泉洋 配給：インディゴ・フィルムズ  
©2020 IndigoFilms

赤ちゃん同伴OKの「ママさんタイム」上映

障害手帳・療育手帳を持参の方、介助の方(1名)も無料です。

大切で愛おしい。だからこそ、ときどき苦しい。産後うつを乗り越えて、新たな命の誕生を迎えるママ。産後うつによる自死と、その傷に向き合うママ。我が子を抱きしめることができないママ…。子育てに奮闘する家族は、それぞれどんな答えを見つけていくのでしょうか。

## 春江水暖～しゅんこうすいだん



2019年／中国／150分

監督・脚本：グー・シャオガン 出演：チエン・ヨウファー、ワン・ファンジュエン  
配給：ムヴィオラ  
©2019 Factory Gate Films All Rights Reserved

### 留学生母國紹介

杭州市、富陽。大河、富春江（ふしゅんこう）が流れる。しかし今、富陽地区は再開発の只中にある。顧（グー）家の家長である母の誕生日の祝宴の夜。4人の息子やその孫、親戚たちが集う。その祝宴の最中に…。変わりゆく世界に生きる親子三人の物語。

## カゾクデッサン



監督・脚本：今井文寛 出演：水橋研二、瀧内公美、中村映里子、大西信満  
©「カゾクデッサン」製作委員会

### 今井文寛監督トーク

元ヤクザの剛太。今は恋人のパートで働いている。そんなある日、剛太のところに元妻の息子、光貴が現れる。「母が交通事故にあって意識が戻らないんです。よかつたら声をかけてみてもらえませんか」…。人生をさまよう全ての人に贈るピースストーリー。

2019年／日本／98分

## 阿賀に生きる



1992年／日本／カラー／115分／16mm  
監督：佐藤真 撮影：小林茂 スチール：村井勇  
©阿賀に生きる製作委員会

### 対談 小林茂(映画監督) × 薫藤正行(シネ・ウインド代表)

新潟県の大河である阿賀野川。山間の田んぼを守り続ける老夫婦、二百隻以上の川舟を造ってきた舟大工、名人と呼ばれる餅つき職人。みんな囲炉裏を囲めば季節の川魚や山の幸を前に、唄を歌い川漁の自慢話に花が咲く。しかし、その一方でこの川と暮らす人々が新潟水俣病の被害者家族であるという現実をつきつける。原発崩壊後、自然を内包した生き方を考える映画として注目されている。

1992年／日本／カラー／115分／16mm

監督：佐藤真 撮影：小林茂 スチール：村井勇  
©阿賀に生きる製作委員会

映画を通じて多文化共生・異文化理解を進めることを目的としています。

## 土手と夫婦と幽霊



2018年／日本／60分

監督・脚本・撮影・録音・編集：渡邊高章 出演：星能豊、カイマミ、松井美帆、渡邊帆貴  
配給：サンバノシアター  
©2021 zampanotheater

小説家の「私」は、葬式の帰りに「高橋」に誘われ、土手沿いに住む「女」の元に行く。「私は目覚めると帰る場所もわからず、「女」の家に居座ることになる。失われた記憶、不味い食事、温い風呂…輝きを失ったこの世界にはルールがあった。

## BOLT



ある日、日本のある場所で大地震が発生。その振動で原子力発電所のボルトがゆるみ、圧力制御タンクの配管から冷却水が漏れ始めた。高放射能冷却水を止めるため、男は仲間とともにボルトを締めに向かう。尚、『BOLT』『LIFE』『GOOD YEAR』の3つのエピソードで構成された本作は、2015年から2017年にかけて製作された。

2019年／日本／80分

脚本・監督：林海象 出演：永瀬正敏、佐野史郎、大西信満、月船さらら、他  
美術：ヤノベケンジ プロデューサー：根岸吉太郎 配給：ガチンコフィルム  
©レスパビジョン/ドリームキッド/海象プロダクション

トーキー 安楽涼監督×柳谷一成(俳優)  
現実を受け入れられない俊と現実の自分ではなく他人から求められる自分に翻弄されているナツコ。ある日そんな2人が出会い、そして同じ時を刻んでいく…。



【元町映画館 コメント】  
めんどくさい2人は、あなたであります。

2021年／日本／99分

監督：安楽涼、片山享 出演：柳谷一成、津田晴香、安楽涼、大須みづほ、他  
企画・配給：元町映画館  
©元町映画館

## 「カリフラワーにほだされて 其の一 —胎動が聞こえてくる—」



トーキー 野上純嗣監督(長岡市)  
それなりに東京でお金を貯めてふる里に帰ったみつはる。河井継之助の旅日記「塵壺」の世界に憧れて、一人旅に出る。

2022年／日本／10分  
監督：野上純嗣 出演：(未定)

## 海辺の彼女たち 対談 藤元明緒監督×羽賀友信(長岡市国際交流センター長)



ベトナムから来た3人の女性たち、アン、ニュー、フォン。彼女たちは技能実習生として3ヶ月間働いていたが、ある夜、過酷な職場から脱走を図った。ブローカーを頼りに、辿り着いた場所は雪深い港町。不法就労という状況に怯えながらも、故郷にいる家族のために懸命に働き始めた三人。安定した稼ぎ口を手に入れた矢先。フォンが体調を崩して倒れてしまう。

2020年／日本・ベトナム／88分

脚本・監督・編集：藤元明緒 出演：ホアン・フォン、フィン・トゥエ・アン、クイン・ニュー  
撮影監督：岸建太朗 配給：株式会社E.x.N  
©2020 E.x.N.K.K. / ever rolling films

## へんしんっ!



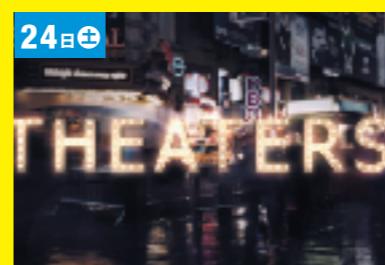
### 鼎談 石田智哉監督×小林茂×薫藤正行

電動車椅子を使って生活する石田智哉監督は、「しょうがい者の表現活動の可能性」を探ろうと取材をはじめた。演劇や朗読で活躍する全盲の俳優・美月めぐみさん、ろう者の通訳の育成にも力を入れているパフォーマーの佐藤静枝さん。多様な「ちがい」を橋渡しするひとたちを訪ねる…。

2020年／日本／94分

監督・企画・編集：石田智哉 キャスト：石田智哉、砂連尾理、他 配給：東風  
©2020 Tomoya Ishida

## THEATERS



### トーク 沖正人監督×鈴木太一監督×中村公彦監督

2010年頃から年々全国のミニシアターは減少の一途をたどっており、今年さらに感染症流行による打撃に苦しんでいます。それでも文化発信の場所を残してほしい…。映画館に、思い出や憧れが詰まった映画監督という立場だからこそその想いを表現。

4人の監督それぞれがたった一つのテーマを合わせて、物語をつないでいく。

2021年／日本／114分

企画：沖正人 監督：沖正人、鈴木太一、中村公彦、山口雄也  
©THEATERS製作委員会

## 宮田バスターズ(株)－大長編－

### 併映 タンクくん誕生！



### トーク 坂田敦哉監督×渡部直也(俳優)

「お電話ありがとうございます！宮田バスターズです」依頼の電話が鳴ったなら【対宇宙生物ガス噴射装置（通称：タンク）】を担いで、今日も現場へ駆けつける！個性豊かなメンバーが集う、中小企業「宮田バスターズ（株）」。「毎日、必死に戦っていれば大丈夫。」そんな彼らの均衡は「テクノロジーの進歩」によって崩れ始める…。

2022年／日本／74分

監督・脚本・撮影・編集：坂田敦哉 出演：渡部直也、大須みづほ、宮崎美子（特別出演）